

大村（7）137号建物外壁防水補修工事

件名	大村（7）137号建物外壁防水補修工事		
図面名称	表紙		
図面番号	1/9	作成年月日	R7.9.25
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班			

仕様書①

1 工事件名 大村（7）137号建物外壁防水補修工事

2 場所 長崎県大村市西乾馬場町416

3 概要

- (1) 仮設工事 枠組み本足場 900枠
高圧水洗浄 一式
- (2) 左官工事 ひび割れ補修：Uカットシーリング充填工法 350m（予定数量）
※数量調査後、状況により、アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法により補修
爆裂補修：浸透性防錆工法 20箇所（予定数量）
- (3) 防水工事 打継目地シーリング打替え 一式 縦目地シーリング打替え 一式
建具廻りシーリング打替え 一式 天井裏換気パイプ廻りシーリング打替え 一式
出入口庇シーリング替え 一式 換気フード廻りシーリング打替え 一式
- (4) 塗装工事 外壁 アクリルゴム化粧防水 一式
鋼製両開き戸（両面） DP塗装 45.6㎡
たてとい（硬質塩化ビニル管φ100） DP塗装 350m

4 一般事項

- (1) 本工事の施工は、特記仕様書及び、設計図書による他、次の基準及び関係諸規則の定めに従い確実に施工するものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（建築工事編）』
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）』
- (2) 本工事の施工にあたり、仕様書と図面あるいは現地において、疑義、相違及び不明な点が生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うものとする。
- (3) 請負者は施工にあたり、諸法規を遵守するとともに、その運営及び適用は請負者の負担と責任において実施するものである。
- (4) 写真は、施工前、完成後、各工程毎及び材料搬入状況等を撮影し写真帳（A4）に整理し提出するものとする。
- (5) 工事場所及び指定された場所以外の無断立ち入り及び写真撮影は禁止するものとする。
- (6) 請負者は、現場代理人を指名し関係法令に従って現場の管理に当たらせ、関係者の監督及び火災・盗難等の災害防止に十分な注意を払わせるものとする。現場においては常に整理整頓を行い、災害等においては自らの責に任ずるものとする。
- (7) 本工事に使用する材料は、再使用品を除き全て新品とし、必要によってはカタログ等を提出し承認を受け、合格品のみを使用するものとする。
- (8) 本工事により発生した金属発生材以外の発生材については、請負者の責任において全て構外へ搬出し、関係法令等に従い適正に処分するものとする。また、 manifests（E票）の写しを監督官に提出するものとする。

(9) 請負者は、契約後速やかに作業実施日を監督官と調整し、工程表等を提出するものとする。

(10) 本設計図書に記載された寸法は標準寸法であり、施工に際しては、原寸等を確認し施工するものとする。また、仕様書に記載なき事項であっても工事完成に必要な軽微な作業は、請負者の責任において実施するものとする。

(11) 本工事に使用する工事用電源は、自社の発電機を使用するものとし、官側の電気及び水道を使用する場合は、請負業者の負担とする。

5 特記事項

(1) 施工数量調査
施工に先立ち、施工数量調査（調査・診断）を行い、調査後は調査報告書（施工計画書含む）を監督官へ提出する。監督官の承認後、本工事を実施するものとする。

(2) 仮設工事

ア 仮設足場は、「枠組み本足場【手すり先行方式】900枠」とし、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）その他関係法令等に従い、行うものとする。特に台風等の強風時は必ず事前点検を行い、安全ネットを外す等の処置を行うものとする。

イ 外部足場の壁つなぎ材の施工は、撤去後の補修が少ない位置とし、壁つなぎ材を撤去した後、現状に復旧するものとする。

ウ 昇降階段を設置する場合は、第三者が上がりないように施錠を行うものとする。

(3) 左官工事

ア 浮き部改修工法は「アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法」とし、使用する材料は下記による。

(ア) 注入用エポキシ樹脂は「JIS A 6024（建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂）」とする。

(イ) アンカーピン固定用エポキシ樹脂はJIS A 6024により、種類は硬質形、粘性による高粘度形とする。

(ウ) パテ状エポキシ樹脂は、JIS A 6024によるか、アンカーピン固定用エポキシ樹脂の製造所の指定する製品とする。

件名	大村（7）137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	仕様書				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	2/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					

仕様書②

イ ひび割れ部改修工法は「Uカットシール材充填工法」とし、使用する材料は、1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材又は可とう性エポキシ樹脂JIS A 6024とする。

(4) 防水工事

ア コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ部分は、幅20mm以上、深さ10mm以上とする。また、目地深さがシーリング材の寸法より深い場合は、バックアップ材を装着し、所定の深さが得られるようにする。

イ 充填は、原則として、吹付け等の仕上げ前に行う。仕上げ後に充填する場合には、目地周囲を養生し、はみ出さないように行うものとする。

(5) 塗装工事

ア 仕上げの色合いは、あらかじめ監督官に提出した見本帳によるものとし、塗装、素地ごしらえ及び塗装の種別は以下のとおりとする。

(ア) 鉄鋼面の素地ごしらえ・・・RB種

(イ) 鉄鋼面の錆止め塗装・・・A種

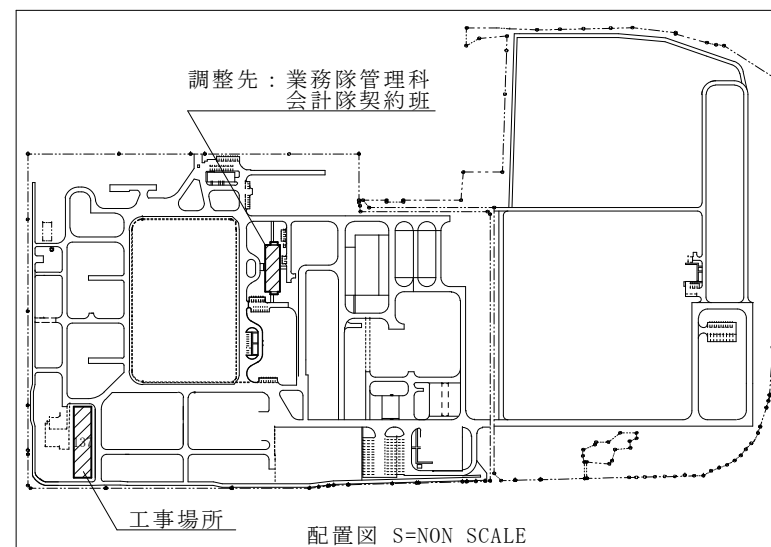
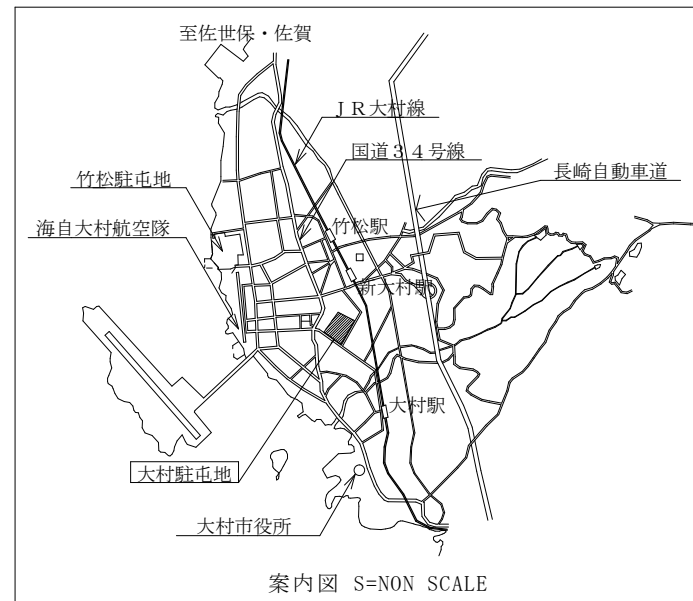
(ウ) 鉄鋼面の仕上げ塗装・・・B種

イ 外壁用塗膜防水材料は、JIS A 6021（建築用塗膜防水材料）に基づく外壁用アクリルゴム系とする。

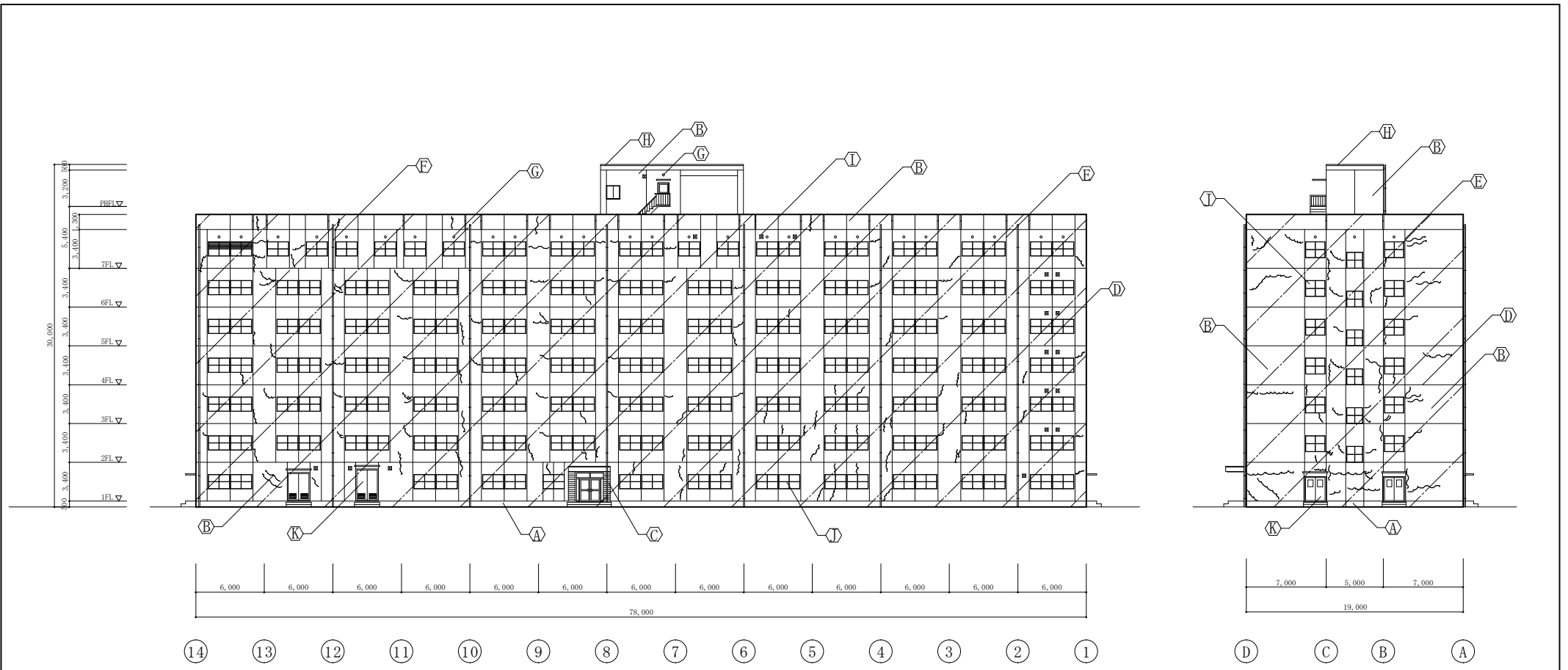
(6) その他

ア 当該建物の外壁仕上塗材は、アスベスト含有があるため、適切な養生・処置をして施工するものとし、万が一外壁表面のはつり等発生した場合の発生材処分については、法令に遵守して処分するものとする。

イ 作業時間は原則として平日の午前8時30分から午後5時までの間とし、土日祝の作業については、原則行わないものとするが、現場の状況に応じて事前に監督官と協議するものとする。また、土日祝の作業が発生した場合、騒音が出る作業は行わないものとする。



件名	大村（7）137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	仕様書・案内図・配置図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	3/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					



北側立面図 1 : 3 5 0

西側立面図 1 : 3 5 0

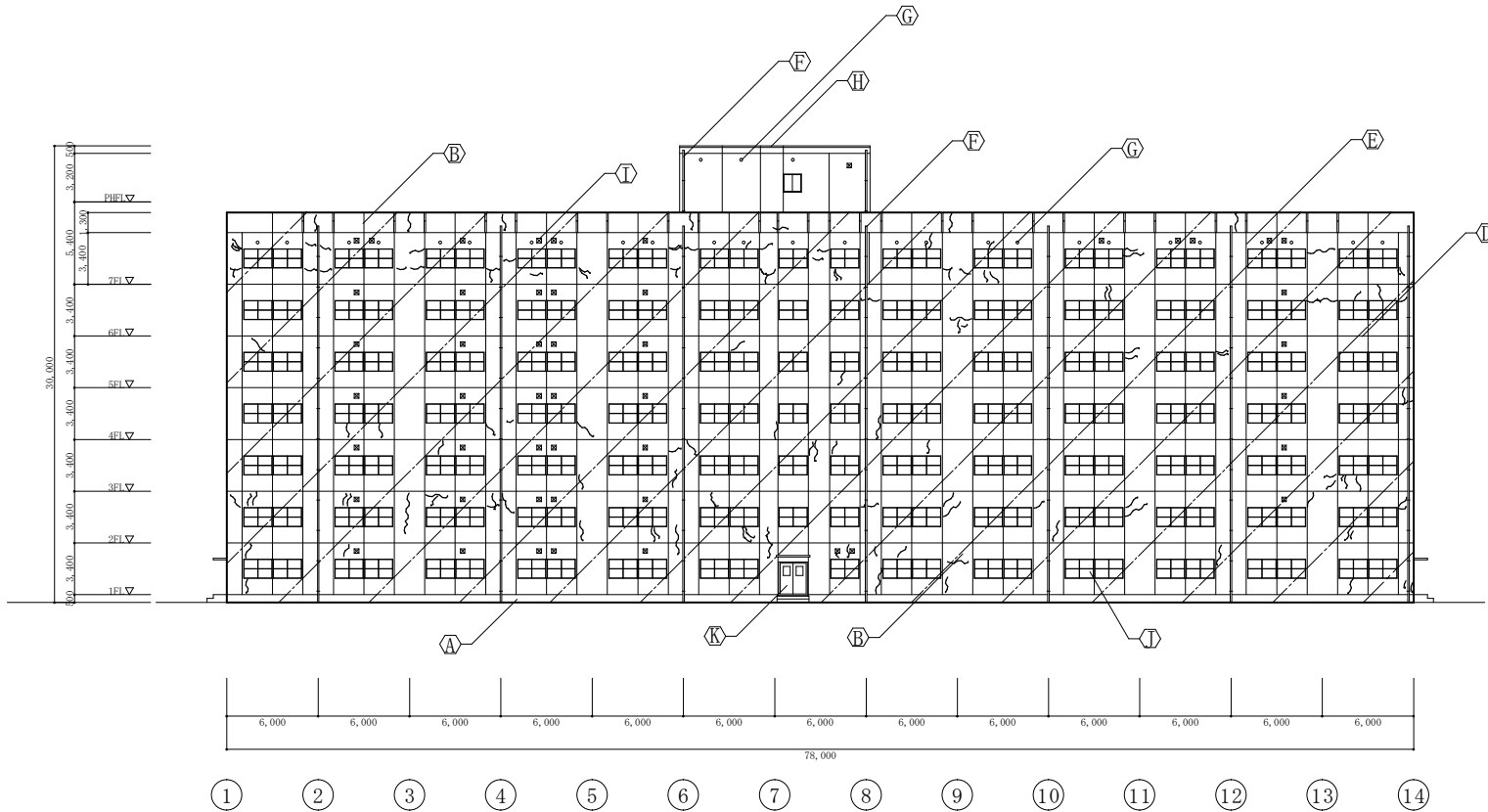
凡例	補修内容	
A	コンクリート打放し仕上げ(B種)	既存のまま
B	コンクリート打放し仕上げ(B種)の上吹付タイル	施工数量調査、塗膜除去(高圧洗浄)、欠損部をA種補修 ひび割れ部リットル材充填、浮き部アクリル樹脂注入工法
C	小口タイル張り	既存のまま
D	打継目地シーリング 20×10 (C種)	既存シーリング撤去、シーリング打替え(パッキング材含む)
E	誘発目地シーリング 20×10 (C種)	既存シーリング撤去、シーリング打替え(パッキング材含む)
F	たてとい 硬質塩化ビニル管(VP) φ100	下地処理・DP塗装
G	換気パイプ φ60	パイプ廻りシーリング打替え
H	アルミ製笠木 W=200	既存のまま
I	有圧換気扇用フード 200×200	フード廻りシーリング打替え
J	アルミ製窓(建具表参照)	建具廻りシーリング打替え
K	鋼製両開き戸(建具表参照)	下地処理・DP塗装(両面)、建具廻りシーリング打替え

ひび割れ部分 リットル材充填	モルタル浮き部分		欠損部分	縦目地シーリング	打継目地シーリング	建具廻りシーリング	換気パイプ廻り シーリング	換気フード廻り シーリング	たてとい	鋼製両開き戸
	浮き面積(m ²)									
ポリスチレン系 シーリング材 又は 可とう性 エポキシ樹脂 (m)	0.25㎡未満	0.25㎡以上 1.0㎡未満	浸透性防錆工法 (箇所)	シーリング(C種) 20×10 (m)	シーリング(C種) 20×10 (m)	シーリング(C種) 10×7 (m)	シーリング(C種) 10×7 (m)	シーリング(C種) 10×7 (m)	DP塗装 (m)	DP塗装 (両面) (㎡)
	注入口付きアクリル樹脂 注入工法 (㎡)	注入口付きアクリル樹脂 全面注入工法 (㎡)		768.0	776.0	1,052	5.5	13.6	175.0	31.6
300.0	0.0	0.0	20.0							

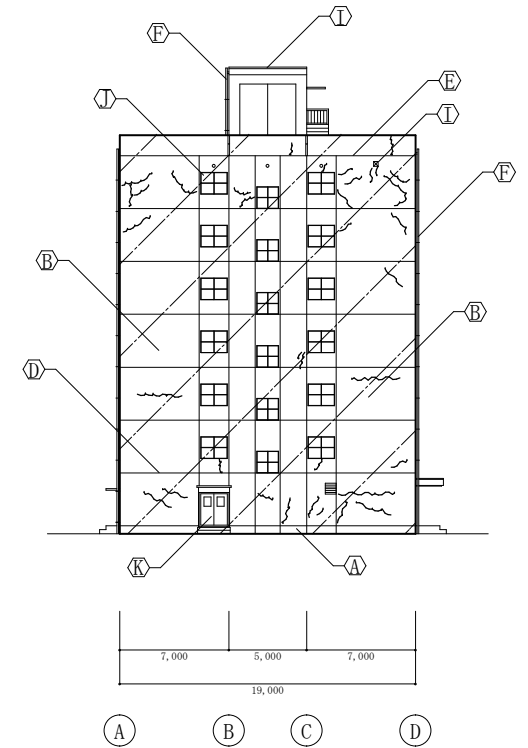
(※現地調査の上、積算を行う)

: 施工範囲を示す

件名	大村(7)137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	北・西立面図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	4/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					



南側立面図 1 : 3 5 0



東側立面図 1 : 3 5 0

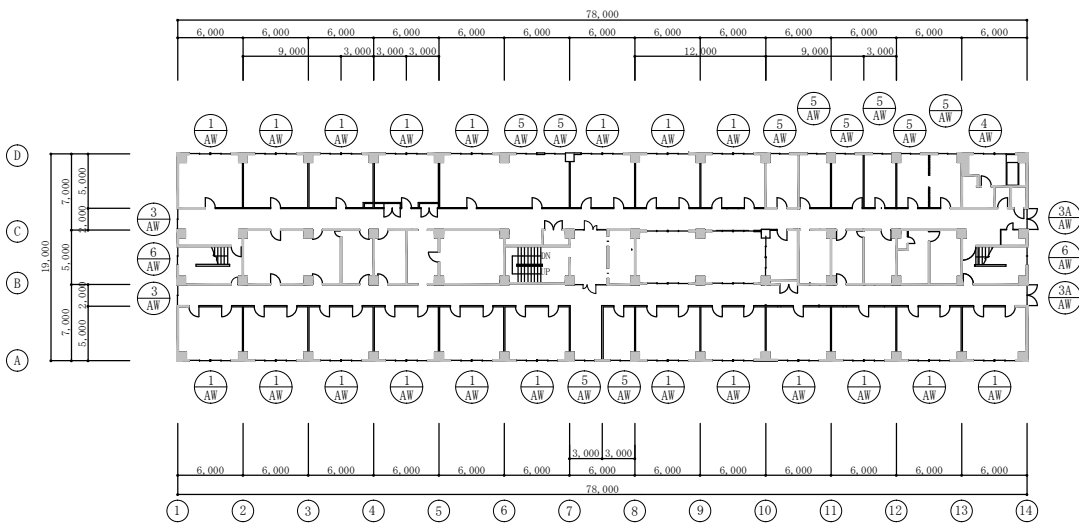
凡例	補修内容
A	コンクリート打放し仕上げ(B種) 既存のまま
B	コンクリート打放し仕上げ(B種) 施工数量調査、塗膜除去(高圧洗浄)、欠損部を補修の上吹付タイル ひび割れ部ウレタン材充填、浮き部アクリル樹脂注入工法
C	小口タイル張り 既存のまま
D	打継目地シーリング 20×10 (C種) 既存シーリング撤去、シーリング打替え(パッキング材含む)
E	誘発目地シーリング 20×10 (C種) 既存シーリング撤去、シーリング打替え(パッキング材含む)
F	たてとい 硬質塩化ビニル管(VP) φ100 下地処理・DP塗装
G	換気パイプ φ60 パイプ廻りシーリング打替え
H	アルミ製窓木 W=200 既存のまま
I	有圧換気扇用フード 200×200 フード廻りシーリング打替え
J	アルミ製窓(建具表参照) 建具廻りシーリング打替え
K	鋼製両開き戸(建具表参照) 下地処理・DP塗装(両面)、建具廻りシーリング打替え

ひび割れ部分 ウレタン材充填	モルタル浮き部分		欠損部分	縦目地シーリング	打継目地シーリング	建具廻りシーリング	換気パイプ廻り シーリング	換気フード廻り シーリング	たてとい	鋼製両開き戸
	浮き面積 (㎡)	浮き面積 (㎡)								
ざり物系 シーリング材 又は 可とう性 球状樹脂	0.25㎡未満	0.25㎡以上 1.0㎡未満	浸透性防錆工法 (箇所)	シーリング(C種) 20×10(MS-2)	シーリング(C種) 20×10(MS-2)	シーリング(C種) 10×7(MS-2)	シーリング(C種) 10×7(MS-2)	シーリング(C種) 10×7(MS-2)	DP塗装 (㎡)	DP塗装 (両面) (㎡)
	注入口付きアクリル樹脂 部分球状樹脂 注入工法 (㎡)	注入口付きアクリル樹脂 全面球状樹脂 注入工法 (㎡)		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		
50.0	0.0	0.0	0.0	992.0	776.0	1,053	5.5	38.4	175.0	14.0

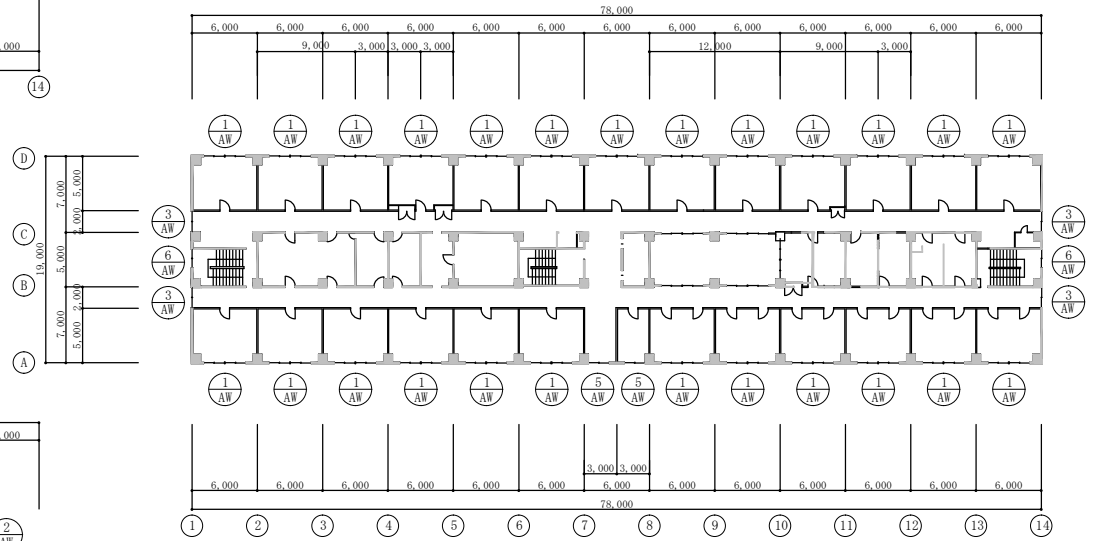
(※現地調査の上、積算を行う)

斜線部分: 施工範囲を示す

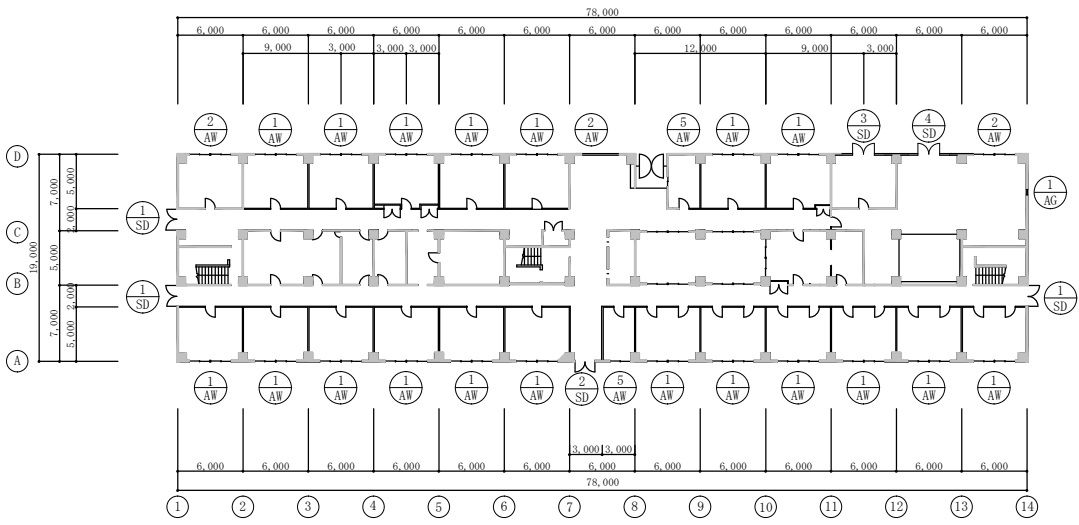
件名	大村(7)137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	南・東立面図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	5/9
大村駐屯地業務隊 管理科宮繕班					



7階平面図 S = 1 : 500



2~6階平面図 S = 1 : 500

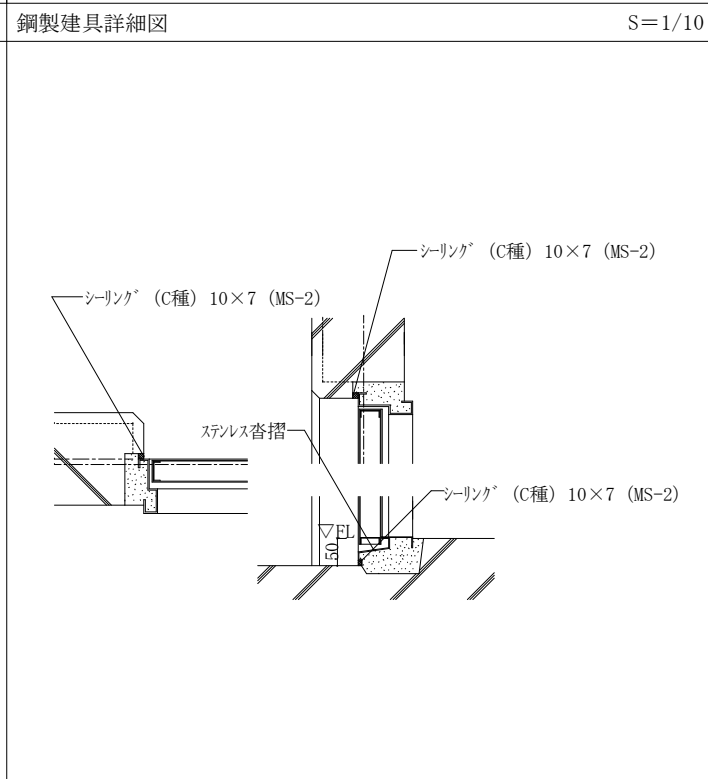
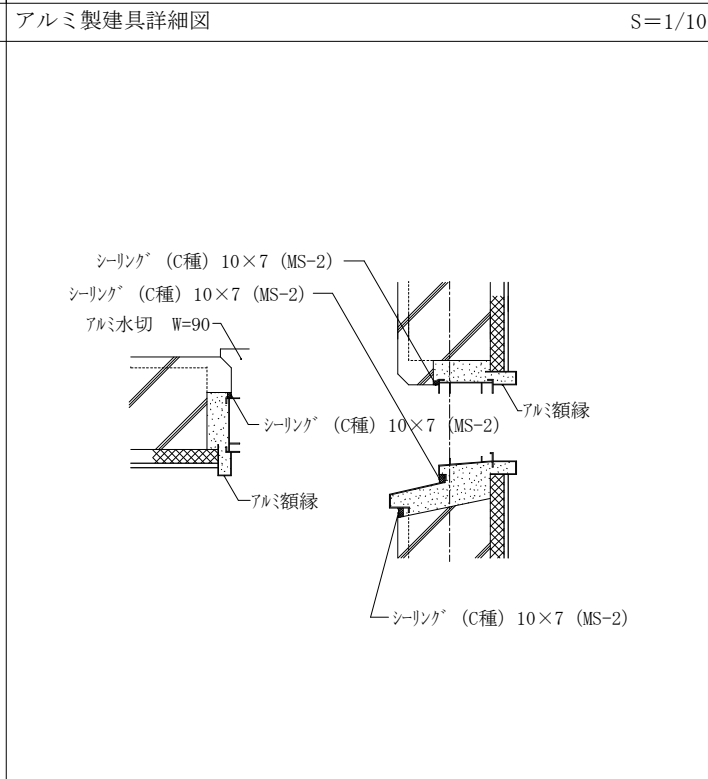
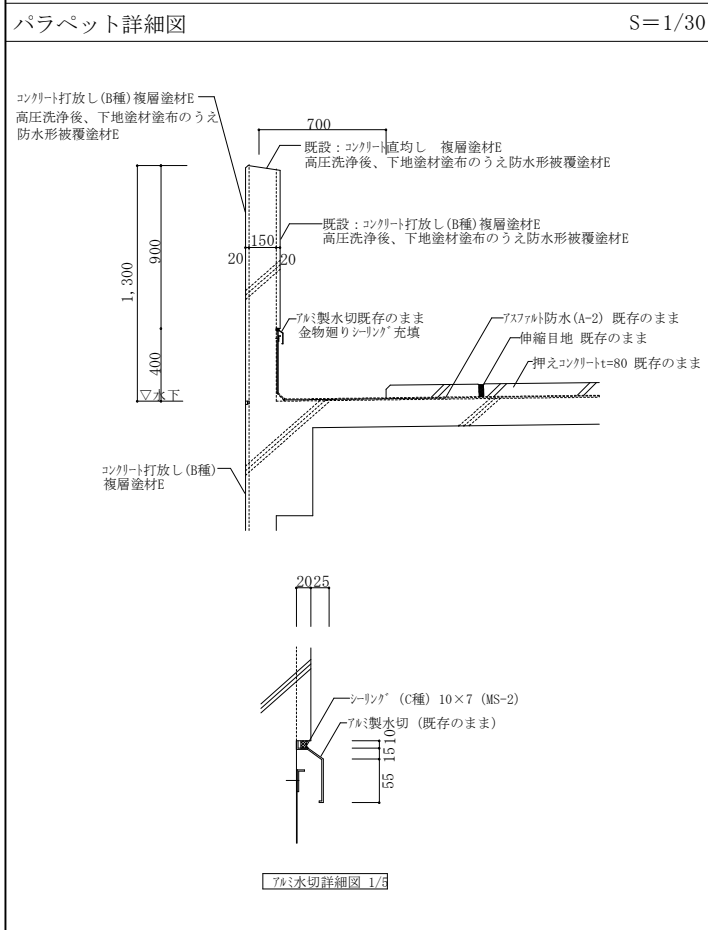
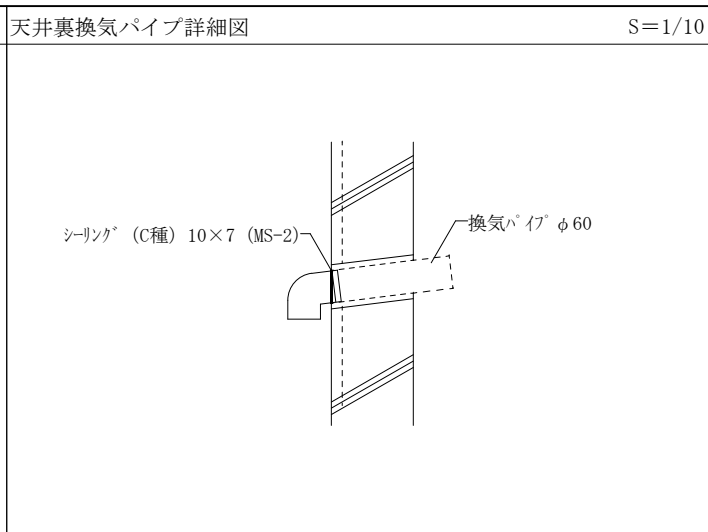
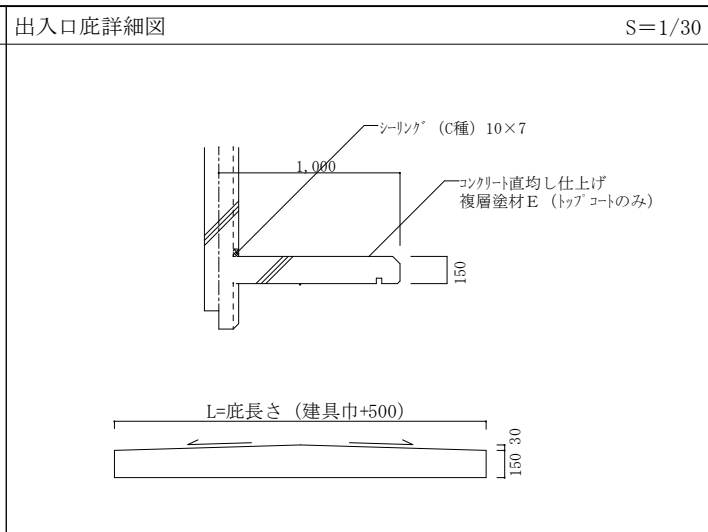
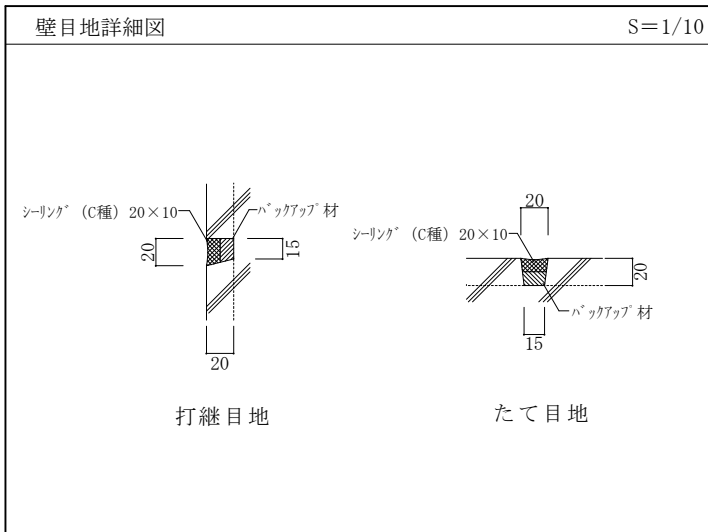


1階平面図 S = 1 : 500

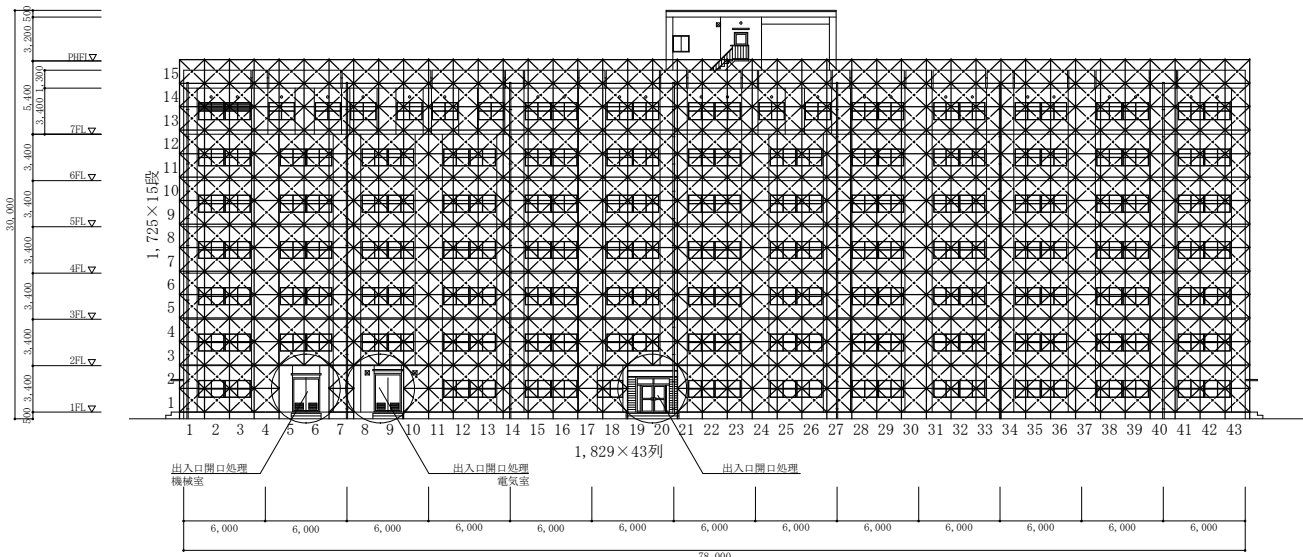
件名	大村(7)137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	建具配置図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	6/9
大村駐屯地業務隊 管理科宮繕班					

符号・名称	① AW アルミ製2連引違い窓	② AW アルミ製2連引違い窓	③ AW アルミ製引違い窓	③A AW アルミ製2連片開き窓
形状・寸法				
数量	164	3	22	2
符号・名称	④ AW アルミ製ガラリ付2連引違い窓	⑤ AW アルミ製引違い窓	⑥ AW アルミ製引違い窓	
形状・寸法				
数量	1	22	12	
符号・名称	① SD 鋼製両開き戸	② SD 鋼製両開き戸	③ SD 鋼製両開き戸	④ SD 鋼製両開き戸
形状・寸法				
数量	3	1	1	1
符号・名称	① AG アルミ製固定ガラリ			
形状・寸法				
数量	1			

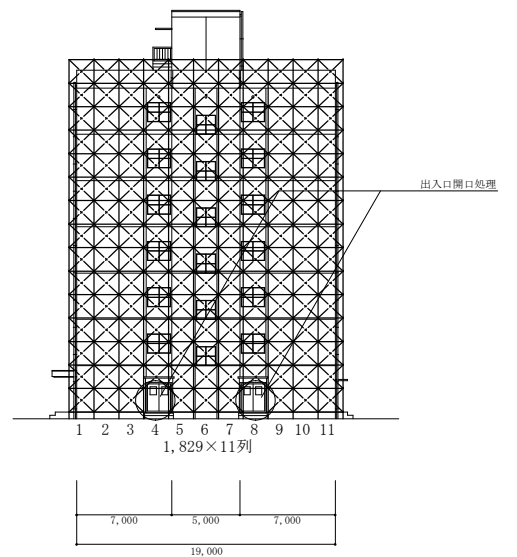
件名	大村(7)137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	建具表				
縮尺	1:50	作成年月日	R7.9.25	図面番号	7/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					



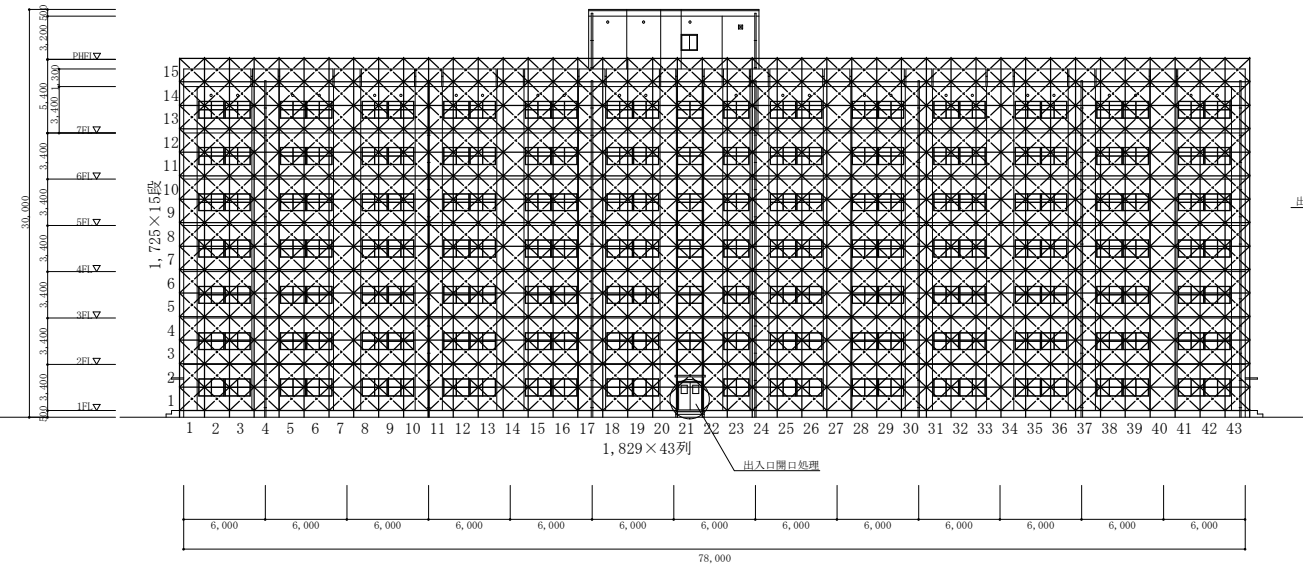
件名	大村 (7) 137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	雑詳細図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	8/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					



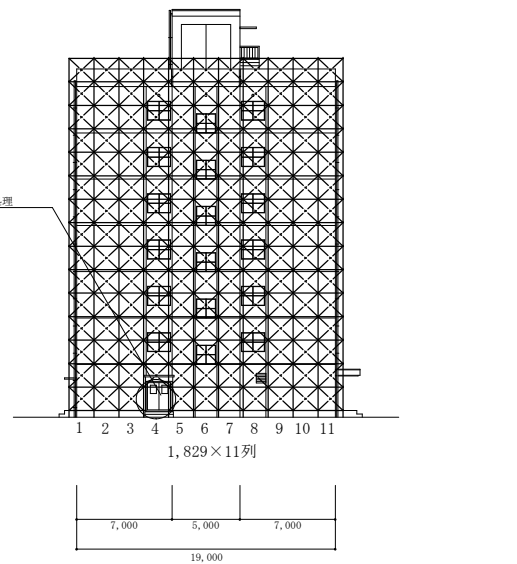
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図

数量算出
 外周の長さ : 78.6+78.6+19.6+19.6=196.4m (外壁からの距離0.3m含む)
 足場の高さ : 25.6m (G.L~パラペット上部)
 足場の面積 : 196.4m×25.6m=5,027.8㎡

件名	大村(7)137号建物外壁防水補修工事				
図面名称	仮設計画図				
縮尺	図示	作成年月日	R7.9.25	図面番号	9/9
大村駐屯地業務隊 管理科営繕班					